

平成 29 年度 トップスポーツチームによる学校交流事業
～松ヶ丘小学校×バルドラール浦安～

1, 概要

日 時：11月8日（水）3～4 限

実施校：松ヶ丘小学校(体育館) 6年生 47 人、4 限 5年生 45 人

実施種目：フットサル

チーム：バルドラール浦安

ディドウダ選手、加藤竜馬選手、露木健司パセ監督

2, 実施内容

ウォーミングアップ

仲間づくり

集団ゲーム

選手に挑戦（希望者との試合）

3, 実施の様子

露木監督と選手 2 名が参加しての交流事業。

初めにディドウダ選手のポルトガル語での挨拶に子どもたちはビックリ。

何言ってるかわからないけど、どうしよう、という感情を抱きながら次の言葉を待っていると、ディドウダ選手が今度は日本語で挨拶をしてくれて、子どもたちはそれだけで楽しそうでした。



左から露木監督・加藤選手・ディドウダ選手

まずはウォーミングアップから。体育館の中をぐるぐる走りながら止まったり、後ろ向きで走ったり、スキップしたり。体が温まってきたところで、今度は笛が鳴ったらコーチの声に従ってグループ作り。

3 人グループ～、次は 5 人グループ～、次は男女混じって 10 人グループ。グループを作れなかった子たちはみんなの前でラインダンスをしてもらいましょう。

「でもね、一人だとできないことでも、仲間と一緒にだとそんなに恥ずかしくなくできるでしょ？ 仲間は大切だよな？」と露木コーチ。

すると「一人でもできるよ。」という勇気のある子もいました（笑）。



10人で作ったグループで手をつないで露木監督の進行に乗ってジャンプします。前にジャンプ！後ろにジャンプ！右にジャンプ！

次は露木監督の指示と反対側にジャンプします。露木監督が「前」と言うと子供たちは大きな声で「後ろ！」と言いながらジャンプ。時々ディドウタ選手の声に騙されて「あれ？」。

最後のメニューは、前の人の肩をつかんでグループで「だるまさんが転んだ」。監督や選手がボールを手から離れた時だけ前に進めます。ボールを持った時に動いたり列がほどけたらスタートラインからやり直し。「スポーツには必ずルールがあるよね。ずるして勝ってもいいのかな？」と露木コーチはみんなに問いかけます。途中で設けられた作戦タイム。それぞれのグループでどうしたら早く進めるか、どうしたら列がほどけないか、一生懸命考えました。



最後にディドウタ選手と加藤選手に挑戦！ということで希望者がサッカーの試合をしました。プロの選手も10人近くの子供たちに囲まれてしまうと、思うようにパスが出せません。結果は5年生も6年生も松ヶ丘小学校の勝ちでした。

子どもたちからは「ミニゲームの中で見せてくれた体のフェイントが凄かった。」「キックは迫力があつた」「選手と一緒に運動できて楽しかった。」などと、トップアスリートとの交流をととても楽しんでいました。

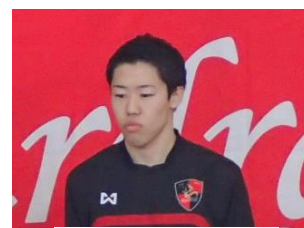


バルトラール浦安の試合は6月～1月。試合日程や選手情報は下記ホームページで。
<http://bardral-urayasu.com/>

◆下記小学校との交流事業にもご協力いただきました。

上の台小学校 露木パセ監督、ディドウタ選手
三島光太郎選手（セグンド所属）

越智小学校 ディドウタ選手、加藤選手、露木パセ監督



三島光太郎選手